夕刊
臺灣日日新報
三月八日

荒鷲ラテドーン爆撃

緬印國境地帶を襲ふ

【リスボン七日發同盟】ニューデリー來電＝インド派遣英空軍司令部は日本航空部隊が六日緬印國境地帶のラテドーンを爆撃し英空軍と空中戰を交へたと七日發表した

ダーウインを爆撃

【リスボン七日發同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部は日本航空部隊が七日ポート・ダーウインを爆撃した旨發表した

荒鷲ソロモン爆撃

【ブエノスアイレス七日發同盟】ワシントン來電＝米國海軍省は日本航空部隊が六日ソロモンの米軍陣地を爆撃した旨七日發表した

ツラギを夜間爆撃

【ブエノスアイレス七日發同盟】ワシントン來電＝米國海軍省は日本航空部隊が五日夜ガダルカナル島北方二十哩のツラギを爆撃した旨七日發表した

荒鷲の船團襲撃を米發表

【ブエノスアイレス發同盟】ワシントン來電＝米海軍省は六日に至り去る二月十七日太平洋に於て米國の[illegible]が日本航空部隊の襲撃を受けた旨發表した

都制案の審議順調

貴院十一日より自然休會

【東京電話】貴族院は[illegible]東京都制案に關する特別委員會の審議は順調なる進捗を示し八日中に大體の質疑を終り九日採決[illegible]貴族院は[illegible]十一日より[illegible]自然休會入りをすることに決定を見た

建設へ原住民總力

ジャワ軍政力強き進展

【ジャカルタ發同盟】戰前ジャワの土地は官有地、私領地に[illegible]

であつたが六月一日これら一切の私領地は國有地に編入され、アジア[illegible]

原住民の宗教

[illegible]

物價統制令を施行して

[illegible]

皇軍廣州灣進駐　敗敵を追つて曉の猛進撃の皇軍部隊（陸軍省許可濟）

赤軍第三軍團を殲滅

ハリコフ南方獨軍大戰果

【ベルリン七日發同盟】獨軍司令部は七日次の戰況公報を發表した　一、クバン地區並にミウス、ドネツ兩河戰線では[illegible]

原住民市長

[illegible]

獨軍包圍圈を完成

クバン地區赤軍を痛撃

【ストックホルム七日發同盟】[illegible]

ハリコフ赤軍事實上殲滅

【ベルリン七日發同盟】[illegible]

獨伊會談の重要性

春季攻勢、獨非常の決意

國際展望

獨伊紐帶益々强化

[illegible]

ボルシエヴイズムを打倒

獨宣傳相重ねて强調

【ベルリン五日發同盟】ドイツ宣傳相ゲッベルス博士は[illegible]

和平の探りに非ず

[illegible]

英國危險に當面す

[illegible]

伯林盲爆被害

【ベルリン六日發同盟】ドイツ政府筋は[illegible]

前大戰との相違

國際的ユダヤ人は極めて兇惡に偽裝するが我々の擬態を見破ることとは出來ない、一九一八年と一九四三年の戰況が一九一四年の戰況と比較にならないと言ふ以外に特に現狀と前大戰との相違を比較するならば次のやうな相違を擧げることが出來よう

一、一九一八年においてはドイツ國民は敵側の宣傳に從つた、然し今日においては[illegible]の背後に忠誠な且つ妥協を許さぬ唯一人の人間として立つてゐる

一、當時平和を口にした人々は今日ただ戰爭のみを語つてゐる

一、一九一八年ドイツ國民は『この戰爭』と叫んだが今日彼等は『斷じて止めるな』と叫んでゐる

一、一九一八年我々は我々の信用を敵に置いた然るに今日我々は自身の力の上に置いてゐる

一、一九一八年勝利の一歩手前で自らの過失であたら勝を逸したドイツ國民は今度こそは容易にこの歴史的先例を逃さぬであらう

ドイツ國民は毅然としてこの冬の試練を切り抜けた、敵は餘りにも早く勝利の叫びを吐き出した、何んとなれば死を期して戰ふ人々は長生きするのが普通だからである[illegible]

赤軍必死の攻勢空し

【ストックホルム七日發同盟】[illegible]

敗走英軍を急追

チユニジア樞軸軍猛進

【リスボン七日發同盟】チユニジア戰線における前線報道を綜合すれば各地の戰況左の通り

北部戰線　六日セ・ジエナスを扱いた樞軸軍は更に敗走する英第一軍を急追して七日には遂にタメラの東北地中海岸の要衝セラト岬を占領した[illegible]

中部戰線　反樞軸軍は各地において執拗な反撃作戰に出て七日にもメジエス・エル・バブ地區ウ[illegible]セルチア、ピジョン地區に[illegible]

要衝セラト岬を樞軸軍占領

【リスボン七日發同盟】[illegible]チユニジア北部戰線で英國軍を急追し七日遂にマツールとタメラの中間にある地中海沿岸の要衝セラト岬を占領したと傳へられる

マレスで激戰

【リスボン六日發同盟】ロメル將軍は六日突如英第八軍陣地の火蓋を切つたが、アルジエー來電によれば目下マレス市の東方二哩の地點で兩軍の間に激戰が展開されて居り獨機甲部隊は英軍に對し猛攻を續行してゐると言はれる

ブラジル商船雷撃を受く

【ブエノスアイレス六日發同盟】リオデジヤネイロ來電＝ブラジル政府は商船アフオンソ・ペナ號（三千五百四十噸）及び貨物船ブラジロイデ號（六千七十五噸）が樞軸潜水艦の雷撃を受けた旨六日發表した、ブラジロイデ號は去る二月十八日又アフオンソ・ペナ號は三月二日それぞれブラジル海岸沖を航行中雷撃されたもので乘組員は殆ど救助された模様だ、因みにブラジロイデ號は戰前のドイツ船モンテヴイデオ號で開戰と同時にサントス港に繋留してゐたのをブラジルの[illegible]により同國に接收されたものである

獨軍空陸猛攻撃

【ベルリン七日發同盟】[illegible]

米英對ソ聯の感情の疏隔甚し

亡命波蘭問題を繞り

【ベルリン六日發同盟】英米ソ陣營の内部抗爭は各方面に深刻な形をとつて現はれつつある、ポーランドの獨立要求を繞るソ聯とポーランド亡命政權の對立は米英對ソ聯の感情の疏隔を益々顯著ならしめた形である、ポーランド側は大西洋憲章に基いて一九三九年の國境を回復し再び獨立を實現したいと希望してゐるのに對しソ聯側は民族的、歴史的に見て舊ポーランド東部ポーランド領は當然ソ聯に所屬すべきであるとそのソ聯邦併合を主張して居りソ聯政府の見解は全く正面衝突を來してゐる、一方英國としてはその戰爭目的が歐洲大陸に於ける勢力の均衡を回復したいと云ふにあるのだから之以上ソ聯が西歐に進出するのを阻止するためポーランド政府の尻押しをしてとこに一大緩衝地帶を作らんとする方針の下にその對策を[illegible]してゐると見られるが最近ベルリンに達した同問題に對する米英言論界の動向次の通り

シカゴ・トリビユーン紙・ソ聯が[illegible]

幽靈の要求

[illegible]

印度各派領袖會議

【イスタンブール七日發同盟】[illegible]

ソロモン敗將復活

【リスボン六日發同盟】ワシントン來電＝米海軍省は[illegible]

米巡アストリヤ號進水

【ブエノスアイレス六日發同盟】ワシントン來電＝米國海軍省は六日フイラデルフイア[illegible]において新巡洋艦アストリア號が進水した旨發表した

英開戰以來の戰費

【ストックホルム六日發同盟】ロンドン來電＝英國藏相キングスレー・ウッドは六日下院において[illegible]開戰以來現在までに英國の戰費は[illegible]

人事

▲平田末治氏（[illegible]）
▲前川[illegible]氏（[illegible]）
▲山本[illegible]氏（[illegible]）
▲上田[illegible]氏（[illegible]）
▲[illegible]氏（[illegible]）

そこひ目
白そこひ　ほし目
青そこひ　ウミそこひ
[illegible]
三週間分　九円
送料　三十錢
眼科專門藥院
代理店　小林・丹牛・高[illegible]

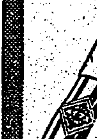
食慾は進み身體が肥る
胃腸
自力健康器
使用は簡單
女も子供も老人も
のぼせ性にも便秘症にも！
[illegible]

イブセン

化膿症

急性・慢性
淋疾
化膿症
感冒
中耳炎
化膿創
齒槽膿漏
齒齦膿瘍
痔

◎内服により、深く病竈に透達し……
◎化膿菌・淋菌・流行性感冒菌に對する、强き抗菌力を發現し
◎病原菌の發育を阻止して症狀の惡化を防ぎつゝ、最も順調に……
◎最も短時日に快癒せしむる「第一製藥」の最高純度スルフオンアミド劑
◎その優秀なる品質は、醫界の信頼を博するところ……
（六錠・一〇錠・一〇〇錠）
第一製藥株式會社
テラポール錠
第一



眼炎に
習慣性なき純正眼藥
スマイル
爽やかな治療感
殺菌・消炎・鎭痛・收斂の優れた作用は、各種眼疾を、點眼時の快感と共に治療し去り、豫防力を發揮します。
職場の視力回復に
眼の疲勞を解消する特殊作用は視力を回復し眼瞼を強靭にします。從つて職場に活用すれば疲れを知らぬ眼となり能率は倍增します
結膜炎　角膜炎
淚膿症　疲れ目
充血　トラホーム
二五錢・四五錢
總代理店　株式會社　王喜商店

消化と榮養
エビオゲンの作用…
成長促進を司る乳酸菌のビタミンB2、之と共に胃腸を整調するビタミンB1、更に歯・骨を强化するビタミンD及びカルシウム、其他牛肝臟實質、燐、消化酵素等も適切に配合してあるので、胃腸を强化し、栄養を良くし、抗病力を增して虚弱體質の改善に極めて有効！
エビオゲン錠
一五〇錠・一円五〇
五〇〇錠・三円七〇
[illegible]

この佳き日佳き朝
必勝の決意更に新た
神前に祈る皇國の興隆

撃ちてし止まむの決意も固く八日第十五回目の大詔奉戴日を迎へた三月は神武天皇祭、ラーングーン入城、陸軍記念日の各一周年記念日など相継いで我々へ戰意一入深く早朝七時半の[illegible]時間には島都中央本部[illegible]が率先して大詔を奉讀すれば[illegible]はラジオの前で襟を正して謹聽、必勝必殺の精神に燃え米英に最後の止めを刺すまで戰ひ抜き[illegible]んじある決意を新たにした、各官衙、會社、銀行では夫々嚴かに奉讀式を擧行、臺灣神社、建功神社を始め各神社では[illegible]島民の祈りに[illegible]大東亞戰爭必勝と出征將兵の武運長久を祈り、また[illegible]島民の赤誠は[illegible]となつて[illegible]民いよいよ大詔に心を[illegible]必勝の決意を新たにした

一齊に詔書奉讀式

[illegible]第十五回目の大詔奉戴日を迎へ[illegible]臺北州、市、[illegible]司令部、[illegible]總督府、[illegible]では[illegible]一齊に詔書奉讀式を擧行した

近づく陸軍記念日
記念野外音樂會
一大市中行進も計畫

決戰下第三十八回陸軍記念日を迎へ[illegible]米英を[illegible]民の[illegible]戰意を[illegible]十日午後一時から吹奏樂隊の一大市中行進と野外演奏會を開催する[illegible]

白衣の勇士を慰問

大日本婦人會臺北州支部では陸軍記念日に際り左記により支部役員が手分けして陸軍病院及び部隊を訪問、[illegible]慰問金を[illegible]する

▲十日臺北陸軍病院本院[illegible]、〇〇部隊山本理事[illegible]

古都ジェノア市全滅
英の暴虐に伊國民憤激

【ローマ七日發同盟】英空軍の相次ぐ盲爆に依り中世紀世界交通の中心として幾多の名所古蹟を誇るジェノア市は[illegible]の拙寺が忘れ難い埠頭前の大通りも今や見る影もない廢墟と化した、ファシスト黨のジェノア支部は英空軍の非人道振りを記錄した[illegible]ジェノア市だけで六、一二一棟が破壞され[illegible]ジェノア市目抜きの大通りに位する由緒深い建物である、現在ジェノア市廳となつてゐるパラッツォ・ドリア・トルシー・ガリバルディ街のパラッツォ・ガムバネラ等は勿論カトリック教の象徴アヌンツィアータ寺院コロムブスが洗禮を受けたので有名なサント・ステファノ寺院、サン・シロ寺院、サン・ドナート寺院、サン・ビニト寺院等も悉く爆撃に遭ひ中世紀以來各國の詩人や旅行者が[illegible]にたつて讚美した埠頭附近の風景も[illegible]になつてしまつた、英空軍の盲爆は更に[illegible]病院に及び市内の教會六十以上、[illegible]のオペラ・カルロ・バガニー二劇場[illegible]を破壞した

臺北市出張事務所の管轄一部を變更

臺北市では一般市民の利便を主眼に左記により四月一日から直轄と出張事務所の管轄を一部變更する

◇古亭區、[illegible]、上埤頭區―東北出張事務所から市直轄の管轄へ

◇下奎府町第四區、第五區―城北出張事務所から東北出張事務所へ

巡回防諜座談會

臺北州防諜[illegible]は[illegible]の巡回に伴ふ國民思想の動向を究め防諜[illegible]化徹底を圖るため三月十五日基隆を皮切りに左記日程により防諜座談會を開催する

▲三月十五日基隆郡▲十六日七星郡▲十七日淡水郡▲十八日文山郡▲十九日新莊郡▲二十日海山郡▲二十二日七星郡北投▲二十三日宜蘭郡▲二十五日[illegible]▲二十六日羅東郡[illegible]

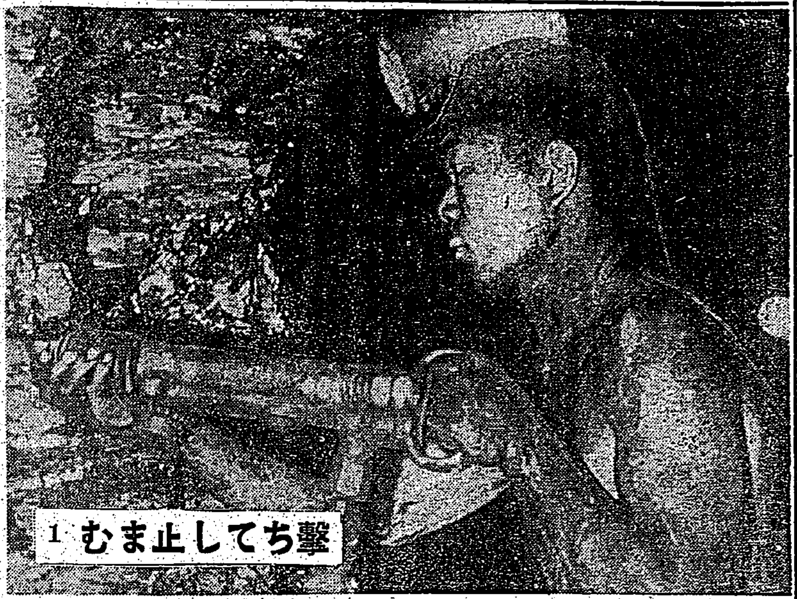
"戰時食"に大滿悦
官民のお歷々も美味滿喫

桔梗倶樂部の食堂開をかねて同倶樂部考案の戰時食試食會が大部事務日の八日午後零時半から島都本部同食堂で開催された、先づ倶樂部石田武子さんから「戰時食」の趣旨につき簡單に説明があつて野菜の漬物、味噌汁の御馳走に舌鼓をはじめ列席の安住總務官、安藤常大總長、須田[illegible]、西村文教、佐治[illegible]局長、梁井知事、[illegible]局長、谷口臺北憲兵隊長、加藤[illegible]、河村[illegible]、松本[illegible]、池田、三毛、大里、石井各夫人ら各女學校、家事料理研究陣その他來賓をはじめ島本部側山本總務長、大淵食糧部長[illegible]十名はいづれも舌鼓をうつて満喫、同一時成功裡に試食會を終つた（寫眞は試食する長谷川總督（左）山本事務局長）

山の同胞も建艦獻金
武官府佳き日に赤誠の群殺到

一億の[illegible]なつて[illegible]第十五回大詔奉戴日を迎へ[illegible]臺灣[illegible]七花八裂の[illegible]示すその感激は更に大きく同太平洋或は北太平洋に死闘を展開する海の[illegible]赤誠には注目すべきものがあり八日午前中臺北在勤海軍武官府に獻納された建艦獻金は總額三千九百九十七圓二十六錢（五十一件）で國防獻金では[illegible]新民[illegible]會の三百圓並に國防獻金を併せて一千六百七十七圓五十一錢、鐵來英國[illegible]一千三百二十七圓十一錢、その中に山の兄弟高砂族の獻金が含まれてゐた、更に海の勇士に捧ぐ慰問獻金は九百九十二圓六十三錢その他獻品としては[illegible]

ゆうかり俳句會　三月例會を十日午後七時から市内[illegible]局本[illegible]倶樂部にて開催、[illegible]



撃ちてし止まむ　1

黑ダイヤに挑む鶴嘴
戰勝へ炭礦戰士死物狂ひ

【東京電話】「撃ちてし止まむ」の氣魄は決戰下一億國民運動の合言葉として全國に漲りつつあるがこの同じ叫びが暗い地下四千尺の坑底からも喊聲として地表に迸り出てゐる、現下五大産業の一つ全國の各炭礦では晝夜を分たず不自然な姿勢と闘ひつつ敵千萬の[illegible]お國の勝利をかけたその鶴嘴を死物狂ひにふるつてゐる、そのひと振り〳〵が固い岩層に突つて「撃ちてし止まむ」と叫ぶのだ、以下は炭坑黑ダイヤ戰士の一日である

×　×　×

午前四時、起床合圖の鐘が朝空々に鳴り渡るさうして窓の下にははや今朝も「をじさんをはさんお早やう、けふも休まずにお國の爲に働いて下さい」といふ元氣な可愛い子供等の聲がきこえる、彼等の數のなんと殖えたこと―初めはわづか數人の殊勝な子供が起床合圖と共に太鼓を各宿舍の間に叩いて廻り連日の疲れに出勤を遲り勝ちな大人達の心を勵まして[illegible]くれたものだつた、それが今では[illegible]大東亞戰爭以來と[illegible]いふもの、この美しい少年少女の仲間が一躍現在の八百六十餘名といふ驚異的な數にまで殖えてしまつた、大人が負けてなるものか、と坑夫達[illegible]事務所につめかける坑夫等の[illegible]には[illegible]疲勞の色は見えない、まだ暗い[illegible]所にはヘッドランプを作業帽の上に輝かせた彼等の姿が整然と列んでゐる、坑長、係員[illegible]等によつて[illegible]式が[illegible]

宮城　遙拜が嚴かに行はれる、曾つては食ひはぐれ、[illegible]された者の寄り合ひのやうに考へられてゐた坑夫等の今はなんと規律正しく[illegible]一念に燃えてゐることか

明けに涼しき山の風
あふれる力拍手に
所れる無用坑上山の空

ここまで見送りに來てゐるあの少年隊が可愛い聲で[illegible]を合唱してくれる、『お大事に！』『しつかり頼みます』と[illegible]にはや坑道深く人車と共にすべり込んだ坑夫等の「ゑい」と云へる一言に、かくてこの入坑の時間[illegible]最近の坑道を[illegible]りの坑夫[illegible]日の[illegible]の作業が始まる[illegible]一番遠いところで[illegible]尺、幅一間位、[illegible]はひになつて漸れる位、[illegible]地上の[illegible]ここに[illegible]嚴々たる[illegible]からも口もあけられたものではない、そして下は[illegible]泥土となつてゐる、[illegible]こんなところで人々が

必死　の作業をつづけてゐる、ジャックハンマーで[illegible]先山、チエンコンベアに崩れた石炭をなげこむ後山、これから送られてくる石炭を炭車に詰めて押してくる[illegible]が一つの目標に向つて一心同體とならなければとても出來ない仕事で、これらの人々のなかには坑夫永年のものも勿論ゐるが[illegible]、[illegible]、半島人など異色ある人々も少くない、[illegible]一昨年は[illegible]めの頃は[illegible]今では[illegible]

晝食　の號笛は十一時半、切羽から少し離れた空氣のよい、しかも炭車の交通の邪魔にならぬ炭室のやうなところでとられる、僅一時間の休憩ののち、再び坑道の[illegible]定時の五時が近づいてくると作業は最高潮に達するどころかいよいよ火花を散らして戰はれる、それは一車でも一塊でも、多く産出することが前線の兵隊に、最後の勝利に直接の影響を持つからだ、[illegible]にへとへとになつても入ると[illegible]くれた子供たちの[illegible]あの聲が[illegible]出てきて[illegible]

【寫眞は地下三千五百尺の坑内切羽に向ひジャックハンマーを奮つて採炭に敢闘する炭坑戰士】

五年間に不解者一掃
島都 國語報國所を增設

島都の國語不解者は六十歲以上の老人および六歲以下の幼兒を除けば現在七萬餘人あると見込まれるが臺北市では決戰下、未だ[illegible]國語不解者を島都から一掃し明朗なる國語都市を建設すべく[illegible]五年計畫を樹てた、[illegible]二十五歲以下の青少年[illegible]人のうち滿二十五歲以下の青少年は約一萬人あり、これは從來の國語講習所二十[illegible]に收容し國語を教へれば大體四年間でこれら青少年層の國語不解者はなくなる見込である、また滿二十六歲以上の國語不解者は六萬人で今の國語報國所五十八ヶ所では到底間に合はぬので新年度からこの國語報國所を一箇所の[illegible]に收容し、一躍五百五十箇所を増やし今秋七月開所にして五年計畫で滿二十六歲以上の國語不解者を一掃する[illegible]國語不解者の大部分に[illegible]この國語報國所を[illegible]の下に直ちに生徒[illegible]開始したが、これと同時に本月末に國語報國所の講師[illegible]者の大部分に[illegible]

堆肥の溫度で育雛
決戰下一石數鳥の名案

【宇都宮電話】[illegible]を用ひず堆肥の[illegible]決戰下[illegible]お百姓さんに[illegible]研究が[illegible]して實驗に成功したものでその方法は[illegible]の止まる下に[illegible]異なるが大體五百羽位なら先づ一間四方位の[illegible]を作り三十貫位の[illegible]水に浸して[illegible]九十パーセント以上確實となり[illegible]死亡率が極めて少く[illegible]

"海ゆかば"に巣立つ
花蓮港高女"螢の光"を閉出す

【花蓮港電話】決戰下の卒業式は七日午前十時から同校講堂で擧行されたが、その際例年卒業生を送る歌として螢の光が歌唱されてゐたが[illegible]この際は[illegible]とあつて[illegible]閉め出し今年から決戰下[illegible]に[illegible]"海行かば"を[illegible]る戰時乙女の[illegible]

……は俳句や都々逸を作つたりなどし出したもの

◇淋しさが軍歌を大きく唱はせる　小林四郎（朝東宗）

◇嘉節を知るに[illegible]と見る　天野[illegible]

◇抑留のいつまで續く十字星　増田[illegible]

[illegible]

目にしみた我が銀翼
繫がれの身に胸を衝く感激の一瞬
邦人に聽く敵性の一斷面

【ジャカルタ三日發同盟】大東亞戰爭勃發と同時に蘭印政府は我が東インド在住邦人並に原住民を如何に取り扱つたか、周知の如く一部邦人は有力な船舶に詰め[illegible]敵地濠洲へ送られ、他の一部はジャワ島内の收容所を轉々として文字通りの地獄の生活に呻吟した、少しでも反オランダ的言動ありと見られた有能なる原住民は何れもジャワ又は蘭印外部の各收容所に抑留監禁された、この邦人中には[illegible]交換船により[illegible]の母國東インドに歸つて來た者もあり、或は勇敢のジャワ救出軍の同時に收容所から救出されて今はこの國の土となる決意も固く[illegible]新ジャワ建設に挺身一[illegible]力をつけてゐる、以下は目下本政廳部に奉職する安住、石居兩氏が語る[illegible]蘭印地に於ける生きた抑留生活記錄であるが、その片言隻句の中に當時蘭印の[illegible]敵性の一斷面が[illegible]く示されてゐる

安住泰吉氏（[illegible]出身、四十六歲、ジャワ在住十七年、前[illegible]、現[illegible]プレアンガン州[illegible]）[illegible]一昨年十二月八日朝七時半武裝した[illegible]人の[illegible]ホテル・デスインデスに乘り込んで[illegible]邦人は[illegible]一寸引立てられた、その日から昨年三月十日[illegible]に救はれるまで三ヶ月[illegible]の收容所

生活　は文字通りの生地獄であつた、私はジャワ島内に抑留されてゐた日本人の一人として當時の模樣をありの儘に申上げて見たい、今では内地でも周知のやうに蘭印當局の我々日本人に對する取扱ひは全く言語に絶する非人道振りを極觸し今から考へるとよくも生きてゐられたものだと思はれる位だ、[illegible]スカブミ收容所に送られてそこで一週間後ガロー收容所に移されたがその後ガロー收容所での生活は極數にアンペラ一枚敷いてあるきりでベットも毛布もなく木の床の上に寢たり起きたりしてゐた、食事といつても原住民が[illegible]に運ばす支那米と僅かな菜だけで時々[illegible]を一切[illegible]だつた、マラリアにでも罹つたものも規律[illegible]たがお互に勵まし合つて辛うじて生きて來た、

一月九日

濠洲　へ送られることとなり兒嶋[illegible]列車隊を組んでガロー驛に向つたが途中私はアンボン人の護衛兵に小銃で撃たれ頭部を負傷した、私は瀕死の狀態でその場に昏倒し暫らく人事不省に陷つ

中部　ジャワのナーガイ收容所へ送るといひ出した、然るにこの時も幸ひなことに[illegible]のメナド人警部の好意により更に一週間の[illegible]を許されることとなり歩行し得るやうになつてから始めてナーガイに移された、途中の列車に揺られたが意識を取り戻してみるとそこはガロー驛のベンチの上であつた出血が多いので輸血を必要としたが醫師がオランダ人に輸血を頼めると通りがかりのオランダ人は何れも「殺してしまへ」とか「放つとけ」とか叫んで振り向きもしなかつた、この時私は「今生今に見ろ」と齒を喰ひしばつて無念の涙をのんだが、幸ひにも親切な原住民が來て自發的に輸血を申出て呉れたのでやつと命だけはとりとめることが出來た、その日は鐵道病院へ送り返されたが一月十八日未だ歩くことも出來ないのに

印の兵隊で一杯であつたが窓でゐる私の病室にやつて來ては「これは日本人か、スパイだらう」など[illegible]と[illegible]に護衛兵に聞いてゐた、中には「俺達に引渡して仕舞へ、次の驛でやつつけて仕舞ふから」などとそんなことまで[illegible]私の面前で言ふ奴もゐた、ナーガイには病氣の者とかチモール方面から送られて收容されて來た者とか約二十名ゐたが何れも榮養不良と不衞生のため蒼ざめた顏つきをしてゐた、しかし私はここでも幸運に惠まれた、ドイツ系の

親日　醫師ボン氏が護衛兵には内緒で毎夜私のために診察にやつて呉れたので私の傷は急速に快復して來た、ボン醫師は現在はバンドンで醫者をしてゐるが私はこの人の心からなる好意を一生忘れないであらう、この時しみじみ世の中は鬼ばかりではないと思つた、三月一日皇軍ジャワ上陸の日、蘭印政府は最後に我々を敵國[illegible]へ移さうと計畫したが海路で[illegible]は我が海軍に悉く撃破されてしまつたので[illegible]うとう我々の濠洲行も取りやめとなり、二日、バンドンへ汽車で送られて來た、この日我々が[illegible]飯を食つてゐる所へ日本の爆撃機が十數機編隊を組んで現はれると見る間に[illegible]爆擊が開始された、この時の我々の氣持といつたら「噫ぐつと胸に來る感激の一瞬であつた」といふ以外に言ひ表はす

言葉　がない、その夜再びスカブミ收容所に運ばれたが空襲で蘭印軍の輸送[illegible]スカブミ[illegible]は一[illegible]と[illegible]見た、[illegible]日千秋の思ひで時の到るのを待つた、いよ〳〵待望の日が近づいて我々ははやる心を抑へてじつと待つ、三月七日朝起きると收容所の兵隊は一人もゐないのに氣づいた兵舍の周圍には兵器や軍服が脱ぎ棄てられ逃走などの狼狽が窺はれに誰がつけてゐた「とう〳〵脱走だ」などと語り合つてゐる所へ原住民警官がやつて來て代つて護衛するといふ、しかしその日から食糧の配給が絶えたので三日間といふものは米と鹽で三度の食事をした、十日の朝待ちに待つた日本軍の救出が來て我々は九死に一生を得て、バンドンの松井部隊へ出頭したのだが

途中　原住民の歡呼に[illegible]が[illegible]へんぽんと翻へつて居りわが將兵が粛として進撃を[illegible]

石居米吉氏（[illegible]出身、[illegible]ジャワ在住廿[illegible]年、前バタビヤ日本人會副會長、現ジャカルタ邦人事務所勤務）忘れもしない昨年の一月二十日我々ジャワ在住邦人千九百[illegible]はオランダの抑留船クレーメル號の汚苦しい二十日間の航海から吐き出された、濠洲の[illegible]と[illegible]つて[illegible]れた、誰も彼も[illegible]の鼎[illegible]埃まみれの顏付といつたら全く何とも言へないやうな光景だつたそこが南部濠洲のアデレード港だつたが、早速附近のパルメラのラブチー收容所に移された、收容所の抑留生活は蘭印に比較すれば幾分よくなつたと思はれたが、それでも八人詰めの天幕生活で、明日はどうされるかも判らない敵地の抑留生活が始まつたのだ、寂しい思ひを互ひに勵まし合ひ

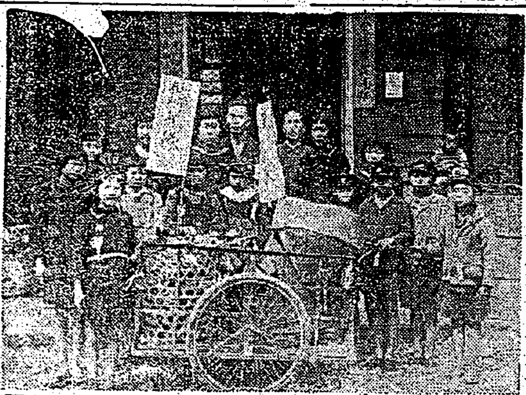
共同　※仕と自給[illegible]の心を失はずに生き抜くことを誓つたのだつた、吹村氏（[illegible]元バタビヤ支店長）を家長として規律正しい日課生活が始まつた最初は何にも娯樂施設がなかつたが、一週間後には國内原語ニュースを切抜いた新聞を發行させてくれたので何とか戰況を知ることが出來たものの、その記事は今から考へるといづれもデマばかりでいろ〳〵と考へさせられることも屡々あつた、だがその後の記事を注意深く讀んでゐると日本軍の進擊の跡が如實に判るので一喜も此にに讀まれるやうなことはなかつた、新[illegible]ジャワ[illegible]

陷落　が大見出しで新聞に出たのはたしか二月十五日のシンガポールであつた、さうかうしてゐるうちこれが當時の我々の生活の一斷面のつたその朝の一同の感激ぶりといつたら全く譬へやうもなかつた日頃何も娯樂もない收容所で我々一同酒も煙草もない收容所で我々一同は靜かに宮城を遙拜した後祝杯でも[illegible]禮の祝宴を行ひ、眼を閉ぢて皇軍將兵の武運長久を祈つたのであつた、數日後の新聞にはシンガポールから脫出した濠洲軍司令官ベネットが[illegible]が行つたラジオ放送の内容が大きく掲載された、日く「英國は百五十年間もマライ、シンガポールを統治して來たが、原住民との間の接觸がなかつた點を今にして悟らねばならぬ、日本軍がジャングル戰に成功した一因はその道案内にマライ人があつたからだ」と、この米國へ[illegible]交換に行つてゐた[illegible]ブラン・モークは[illegible]抑留者[illegible]

光景　やら避難民にくれてやる[illegible]の山などの寫眞が載つてゐた「今度は[illegible]ジャワだ」と我が[illegible]語り合つてゐるうちに三月二日のジャワ戰となつた、この[illegible]を聴いたときの我々の感激といつたら全く[illegible]しやうもなかつた、酒は勿論一滴たりとも入れてくれぬので[illegible]の如く[illegible]どうしても眠れなかつた「ジャワ[illegible]たとニュースを[illegible]

アン・モークは「シンガポールの陷落に際し何[illegible]に國際空軍ではなかつたか、英蘭政府は現在ビルマ防衛にのみ汲々とし[illegible]の迫つた蘭印を見殺しにするつもりか、また米政府に[illegible]が蘭印に代金支拂濟みの武器飛行機の輸送をさへ實行せず注文品の前金を横取りするつもりか」などと攻撃を加へてゐた、一方二月十八日頃から我が軍のポートダーウイン空襲が始まり沿の港では[illegible]の避難民が多數大陸を移動して十七百哩も離れたアデレードへ[illegible]殺到して來た[illegible]これら避難民に關する新聞記事は[illegible]が發見されたことを報じ各新聞に

悲境　に陷つてゐるといふ記事も載つてゐた、一方三月五日夜のバンドン放送局も「蘭英の[illegible]り放送を中止せざるを得ない狀態に立ち至つた」と[illegible]の[illegible]べたことがやはり當時の新聞に載つた、英國[illegible]後の狀況は全く不明となつたが、特に三月中旬比島から脫出したマッカーサーが西南太平洋反樞軸軍司令官に就任してからといふものは[illegible]の[illegible]況は全く聯合主義に一變して全く戰況を知らされなくなつた、恐らく[illegible]は全くアメリカ側[illegible]したからで[illegible]ジャワ[illegible]一[illegible]は[illegible]ぎないが、今は[illegible]一[illegible]と[illegible]一の[illegible]めに[illegible]一[illegible]成し得た[illegible]



ヨイ子供等廢品を獻納
勉學の餘暇に淨汗

七日午下り臺灣軍司令部へリヤカーに獻納を満載してエッサエッサの掛聲も勇しく持ち込み獻納を申出ると共に二十圓三十五錢を國防獻金にと差出したヨイコドモたちがあつた、これは臺北市古亭町第三高公班子供組代表[illegible]君、西永利三郎君、田平勇君、木[illegible]君、岩間芳子さん、[illegible]さんその他でここに一ヶ月前から勉學の餘暇を利用して租界を[illegible]廢品を[illegible]その[illegible]金したもので軍當局もこのヨイコドモの赤誠には深く感激した【寫眞は獻納された廢品の山】

白衣勇士に味覺の慰問

[illegible]臺灣[illegible]北支部、[illegible]では[illegible]八日[illegible]出張、陸軍病院に[illegible]大小の[illegible]白衣の勇士を慰問した

竹内中佐臺中州下へ

陸軍記念日講演のため[illegible]司令部[illegible]竹内中佐は[illegible]

七十圓の强盜に懲役十二年

强盜七十圓の[illegible]臺北市[illegible]町二五一林[illegible]は昨年一月三十一日より[illegible]に施行された「戰時犯罪處罰に關する法律」所謂戰時立法によりこの程五日臺北地方法院で懲役十二年の判決を申渡されたが、[illegible]戰時下の治安を紊す最も悪質なる犯罪として且つ又銃後への戒めのため一罰百戒的に假借なく斷罪する[illegible]

既納の乘車料金認定
高雄市バス

【高雄電話】高雄市バスでは先般の料金改正に依り三月七日以後無效となる舊回數乘車券の取扱ひ方に就き攻究中であつたが、既納の乘車料金を認めることに決定、三月六日迄の使用殘りの回數乘車券の枚數に差額を追徵することによつて乘車券の效力を認めることにしたが、[illegible]所持者は交通課の事務所に殘り枚數[illegible]の枚數[illegible]

義姉殺し　あす公判

[illegible]十一月[illegible]臺北市[illegible]十二年[illegible]義姉に[illegible]

殺菌劑配合　齒磨ブラク　歯細菌をも淨化する！　（[illegible]）

今夜の番組

（第一放送）▲六・〇〇少國民の時間、シンガポール[illegible]、われらの國史「撃ちてし止まむ」[illegible]▲六・三〇[illegible]民主主義[illegible]▲七・〇〇[illegible]（レコード）▲七・二〇民防空について（臺北）[illegible]▲七・三〇ベルリンより「ドイツ國民[illegible]」▲八・〇〇[illegible]▲八・二〇[illegible]▲九・〇〇ニュース[illegible]

（第二放送）▲六・〇〇[illegible]▲六・三〇[illegible]▲七・〇〇[illegible]

明朝の番組

[illegible]

改訂版　新學期　農大の講義錄　農大農學講座　農大農業講義　農大拓殖講義　[illegible]　東京市淀橋區[illegible]

會葬御禮　警察葬儀委員長　齋藤茂

後三國志
（出師の巻）
吉川英治作
矢野橋村畫

冬將軍（三）　(41)

冬が來た。
連年遠征の蜀軍は、赤壁、漢中の[illegible]に座する七十餘里の陣營を堅持して、章武二年の正月を迎へた。
賀春の酒を、近臣に賜ふの日、[illegible]「朕か、わが[illegible]か。思へば朕も老いたが、また[illegible]の諸大將も、多くは年老い、冬の陣も[illegible]たことであらう、しかし[illegible]、張苞などの若いふたりが役立つて來たので朕も大いに氣づよく思ふぞ」などと述懷した。
するとその日の午過ぎ、
「黃忠がわづか十騎ばかり連れて呉へ投降してしまつた」
といふ風聞が傳はつた。
帝は[illegible]は告げる者に笑つて、
「いや、黃忠は今朝とこにきつたきだめし老骨を勵まして呉へ討ち入つたものであらう。朕の[illegible]で心ない呟きであつた。――あはれや彼も七十の老武者、過ちさせては不愍である。關興、張苞、すぐ行つて彼を救へ」
と、云つた。
玄德の推察は過つてゐない。實に黃忠はその通りな氣もちで、わづか十騎をうれて、陣中に一轉して見せんと、途中、味方の丹陵の陣地を通つた。
[illegible]、[illegible]が見かけて、
「老將軍、どこへ行くのか」
と、たづねた。
黃忠は、[illegible]と、帝の[illegible]を物語つて、
「帝は賀春の席で、[illegible]みな多くは老い、物の用に立つものも少いと宣ふた。それがし、年七十にあまれど、なほ十斤の肉を啖ひ、臂に二石の弓をひく、敵に、これから呉地に一泡ふかせて、帝の御心を安んじ奉らうと思ふのでござる」
と、馬から降りもせず答へた。
「老人、それは無茶だ」
[illegible]は、[illegible]だめた。それこそ年寄の冷水といはないばかりに彼は諫めて云ふ。いま呉の陣は、[illegible]は内部が一變してゐる。[illegible]先鋒に[illegible]、[illegible]を後方にさげて、[illegible]に――
「ばかな」
と、老人は云ひ[illegible]
「あすも[illegible]は[illegible]」
[illegible]
そして翌日はまた、この七十餘歲の武者は、突然の先に立つて「潘璋、出よ」と、四角八面にあばれ廻つてゐた。
けれど、けふは呉にも、馬へかけ[illegible]。彼は地の利の悪い所へ誘ひ込められた。血路をひらいて返れようとすると、四方から石が飛び炎風が吹いて來た。そして左の山から周泰、右の谷から韓當、うしろの谷から[illegible]潘璋といふように、呉の兵勢は雲の如く彼の退路を塞いでしまうた
[illegible]は[illegible]
黃忠を探しに來た。また少しおくれて關興、張苞が、數千騎をうつれて、吹雪のやうに駈け[illegible]れて來た。[illegible]、[illegible]は討ちもらしたが、今日としては、十二分の捷ち占めて、いちど[illegible]は野を[illegible]て[illegible]
「御無事でよかつた。さあ老將軍、[illegible]りませう」
張苞、關興などが引揚げをうながすと、
「ばかな」
[illegible]
黃忠はやがて呉の潘璋の陣中へかかつた。わづか十騎で平然と中軍まで通つてしまつたのである。要に[illegible]つて番兵が味方を呼び立てたときは、主將潘璋はすでに[illegible]と[illegible]と、[illegible]ってゐたのである。
「關羽が仇を報ぜむと[illegible]黃忠ここに來る。かくいふは蜀第一の老黃忠なり」
と、その[illegible]へ迫つて大聲に名のりかけたからである。
[illegible]に[illegible]なく中軍の内から起つた[illegible]ある。潘璋の外陣は、みな[illegible]をすてて中心へかたまつて來た。
そこへ張苞の一軍が――

優秀二吾生アキア製劑　强力リベール錠　化膿性疾患に　[illegible]　三錠・五錠・十二錠　大阪[illegible]

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁
[illegible]

敵機百十二を撃墜
潜艦四隻を撃沈
ソロモン、ニューギニア方面戰果

【東京發至急報】大本營發表（三月八日十七時）二月十六日以降三月五日迄にソロモン群島及びニューギニア島方面に於て帝國陸海軍部隊の收めたる戰果並に我方の損害左の如し

一、戰果　飛行機百十二機撃墜、同十一機撃破、潜水艦四隻撃沈

一、我方の損害　驅逐艦二隻沈没、輸送船五隻沈没、飛行機七機自爆及未歸還

熾烈な補給戰の連續
廣大地域に戰果樹立

【東京電】南太平洋ソロモン群島及びニューギニア島方面における日米航空戰は我軍のガダルカナル島ブナよりの[illegible]以來著しく熾烈化し然もその[illegible]我前進基地、補給基地及び補給線の攻撃に集中されてをり我が陸海軍部隊はソロモン群島及びニューギニヤ島の各要域に設定された優位なる戰略態勢に立つて執拗に來襲せる敵機群を地上砲火、空中戰等によりその都度完膚なきまでに撃退すると共に[illegible]に從事してゐる、而して二月十六日以降三月五日までに我が陸海軍部隊が收めた飛行機百十二機撃墜、同十一機撃破、潜水艦四隻撃沈の戰果は實にラバウル、ムンダ、コロンバンガラ、スミル、トナール、ルッセル、アンボン等を結ぶ廣大な戰域において樹立され如何に我が南太平洋における布陣が[illegible]であるかを物語つてゐる、然しながら我方もこの間敵機の反撃により驅逐艦二隻、輸送船五隻沈没、飛行機七機自爆及び未歸還の尊い犠牲を出してゐるのである、南太平洋戰局の現段階こそ熾烈なる彼我航空補給戰の連續である戰力增強特に航空戰力增強の緊要なる所以は實に此處にありと言ふべきである

壯烈・戰鬪日誌

【東京電】帝國陸海軍部隊は二月十六日以降三月五日迄の間にソロモン群島及びニューギニヤ島方面に於て地上砲火及び空戰により敵飛行機百十二機撃墜、同十一機撃破、潜水艦四隻撃沈の戰果を收めたがこの間の戰鬪日誌を繙くと次の通り

二月十七日　ニュージョージア島ムンダ上空＝グラマン戰鬪機四機撃墜

同十九日　コロンバンガラ島上空＝[illegible]二機、コンソリデーテッドPBY一機撃墜

同二十日　ムンダ上空＝[illegible]八機撃墜、ニューブリテン島スルミ上空＝B二五、一機、B二六、一機撃墜

同二十一日　ムンダ上空＝六機撃墜、アンボイナ島アンボン上空＝B二四、二機撃墜

同二十三日　ニューブリテン島ラバウル上空＝双發一機撃墜

同二十四日　ラバウル上空＝B一七、一機撃墜、ムンダ上空＝四機撃墜、一機撃破

同二十五日　コロンバンガラ上空＝[illegible]十二機撃墜

同二十六日　ムンダ上空＝[illegible]六機撃墜

同二十七日　ムンダ上空＝グラマン戰鬪機四機撃墜

三月一日　ニューギニヤ島上空＝[illegible]二機撃墜、B二八、二機撃墜、一機撃破

この間我が方二機自爆及び未歸還

ルッセル島附近＝[illegible]一隻、P三九、五機、バッファロー一機撃墜、七機撃破

衆院は議案全部議了
けふから自然休會へ

【東京電】衆議院において終始白熱的論議を展開しその歸趨を注目された戰時刑事特別法中改正案は八日午後最後の委員會で滿洲國裁判の效力に關する法案外二件と共に原案通り可決されたので直ちに本會議を開會、これらを一括して緊急上程し[illegible]全會一致を以て可決成立を告げ茲に衆議院は再開以來四十日を以て全議案を議了、九日より自然休會に入ることとなつた、即ち衆議院は先議案五十件の內東京都制案一件に修正を加へたのみでこれを可決、貴族院に送付し、貴族院より回付を受けた三十九件については全案を無修正可決成立せしめた外さきに[illegible]十八年度總豫算案を成立せしめ最後まで殘された戰時刑事法案四件に對しても舉國一致の形をとり決戰議會の掉尾を飾つて一億國民の總意を遺憾なく反映した、而して貴族院においても先議案三十九件を無修正可決、衆議院へ送付し衆議院より受領せる五十件の法案については八日委員會可決となつた東京都制案を最後として[illegible]を終了し九日は休み、十日本會議を開催、[illegible]東京都制案外四件を上程可決成立せしめるのみとなり、十一日より自然休會に入ることとなつた、斯くて兩院とも決戰下の要請に即應して快速審議の實を擧げ今後は衆議院は二十四日[illegible]、決算委員會を、又貴族院は十八日[illegible]第一第四各分科會二十日[illegible]第一分科會、二十二日[illegible]を開くこととし必要に應じて兩院とも何時にても本會議を開き得る態勢の下に自然休會に入ることとなつた

戰刑法案成立す

衆議院本會議

【東京電】八日の衆議院本會議は午後五時十二分開會、劈頭委員會で可決された

一、戰時刑事特別法中改正法律案

一、滿洲國裁判の效力に關する法律案

一、裁判所構成法中改正法律案

一、陪審法の停止に關する法律案

の四件を一括緊急上程、濱野委員長より委員會の審議經過並に結果を報告、之に對し東條首相[illegible]を求め

只今委員長の報告になつた戰時刑事特別法中改正法律案についてこの際政府の所信を改めて申し上げたい、政府は本法案の成立は戰爭遂行上絶對必要なるものと考へてゐる、而してその運用にあたつては委員會において[illegible]大臣より説明した通り最も慎重なる態度を以て之に當り苟しくも濫用の弊に陷るが如き事なきを期する所信である

旨を述べた後採決に入り全會一致原案通り無修正可決、ここに[illegible]は成立

一、河川及び海岸の防災施設[illegible]に關する建議案

に關する委員長報告は延期することとして五時四十七分散會

中條山脈の敵を掃滅

【太原八日發同盟】[illegible]新鄕西北方の[illegible]を討伐、新[illegible]南方の[illegible]を殲滅し[illegible]我が精鋭部隊は去る二月十日[illegible]中條山脈に據る[illegible]を敢行、これを殲滅し二十三日には絳縣[illegible]（[illegible]南方七十粁）で[illegible]を殲滅、次で新絳西南方三[illegible]附近の[illegible]に大打撃を與へ、その戰跡を完封した、二月中に於ける〇〇部隊の綜合戰果左の如し

交戰回數三一七、交戰兵力二六、二七一（內共匪一八、二五九）、遺棄屍體一、七二八、捕虜一、七四、[illegible]、小銃六六四、[illegible]四、自動小銃二一、手榴彈一、四八九、地雷六七、その他武器、彈藥多數

日本海洋漁業
廿七日創立

【東京電】水產統制令に基づき日本水產を中心として設立準備中の日本海洋漁業統制會社はこの程設立手續きを完了するに至つたので來る二十七日丸ノ內[illegible]創立總會を開催、[illegible]その他を決定することとなつたが初代社長には現日本水產社長田村[illegible]氏、副社長に同副社長[illegible]氏が就任の豫定

出鱈目な米の發表

ニューギニヤ[illegible]によ
り二千三百[illegible]
[illegible]

【ブエノスアイレス八日發同盟】ソロモン方面の戰況に先だち[illegible]日本軍の行動活潑化を[illegible]について西南太平洋[illegible]司令部が多く出鱈目の戰況公報を發表し反樞軸側の[illegible]「凡そ百三十六機、內[illegible]」と稱してゐるが、[illegible]と發表してゐるが、流石に氣が咎めたか、他は[illegible]を受けたことを認めてゐる、然し米國[illegible]が多く出鱈目なことは既に[illegible]米國當局者すら苦々しく思つてゐる位で、以上反樞軸司令部の發表が全く嘘八百であることは云ふまでもない

英國の老猾を重慶紙攻擊

【[illegible]】反樞軸陣營[illegible]の內訌は益々激化しつつあり重慶政府でも英國の[illegible]に對し最近漸く[illegible]を加へ、言論界に於ても英國の[illegible]を露骨に表明してゐる、[illegible]

[illegible]米國[illegible]の七七%を英國に[illegible]のに[illegible]、英國の[illegible]は少しも[illegible]、[illegible]の三分の二を[illegible]英國[illegible]の三分の一[illegible]はどう[illegible]と[illegible]英國の[illegible]米國を[illegible]斯くて反樞軸[illegible]の結果[illegible]

ロメル軍麾下猛攻撃
チュニジア戰決戰段階

【ローマ七日發同盟】ロメル將軍麾下の樞軸軍は北部戰線と呼應し六日から南部戰線において猛攻撃を開始、チュニジア戰線は決戰段階に入らうとしてゐるが、チュニジア戰線の[illegible]が直ちに地中海全局の[illegible]に決定的影響を與へるのは必至でありチュニジア戰局の消長と相俟つて地中海を[illegible]樞軸軍も今や新段階に突入しようとしてゐる

兵站線確保を企圖　樞軸軍のトリポリ放棄は當時公表された通り英第八軍の進擊に對し[illegible]であり、樞軸側の[illegible]をもつて新たなる防衛線に[illegible]定の行動で特に英第八軍の攻擊を[illegible]ふことは出來ない、然しイタリア南部並にシチリア島方面に對する反樞軸側空軍の攻擊が激化したことは事實で[illegible]の公報を綜合すれば一月二十三日から二月末までにシチリア島各地に對して五十一回、イタリア本土最南端のカラブリア州に對して十七回、サルデニア島に對して六回、ナポリ六回、ランペドーサ島に二回、トリノ、ミラノ、スペツチア各一回となつてゐる、反樞軸軍はシチリアでの一大會戰でもチュニジア戰線に對する[illegible]に萬全を期するに決定したと言はれる

チュニジア戰線の現狀　チュニジア戰線においては樞軸軍はビゼルタ平灣からガベス灣に至る海岸線に沿ふ平地一帶を完全に掌中に收め逐次占領地域を擴大、山岳地帶から攻め下らうとする反樞軸軍を食止めてゐる、即ち北部においてはセジェナヌ、マツール、ベジャの線、メジェヌ・エル・バブ、ダーベラ、ポン・デュ・ファスの線、中部においてはピション、スベイトラ、ガフサの線、南部においてはガベ、メデニン間の有名なマレス線で樞軸の相當強化する第一線である中部の戰線においては樞軸軍はカッセリーヌ峠まで反樞軸軍を追詰め合計六千に達する米國將兵を捕虜とした、同方面米軍の士氣全く揚らず[illegible]を擧げる[illegible]と言はれる、南部マレス線方面の樞軸軍は六日來[illegible]他に樞軸を集中してチュニジア戰線に對する兵站基地たる同方面を[illegible]であり樞軸軍の地中[illegible]に於ける最後の據點チュニジアを包圍する作戰と[illegible]される

地中海全局の對策　樞軸側は地中海の制海權を維持し歐洲大陸に對する南からの攻擊を防止するため全力を擧げてアルジェリア地方からの英米第一軍及びトリポリタニアからの英第八軍の進擊を阻止し兵站線を確保する決意で[illegible]のロ[illegible]

局部長會議

[illegible]八日午後二時[illegible]長官官邸に於て[illegible]須田總務長官以下[illegible]に就き、山內[illegible]長より官制[illegible]の[illegible]に就き[illegible]より[illegible]に關する[illegible]南方[illegible]並に[illegible]に就き[illegible]長より南方人文研究所、南方資源[illegible]の官制が決定し[illegible]に[illegible]の一部を所員とする旨並に[illegible]長より[illegible]十日公布される[illegible]並に[illegible]に就き[illegible]があつた

日華は同甘共苦の民
章副會長日露戰役の回顧談

【北京八日發同盟】友邦日本の第三十八回陸軍記念日に當り華北の一大勢力を有する紅卍字會の領袖で現中國工程學院院長[illegible]氏（六三）は左の如き日露戰役の回顧談を語つた

中日兩國は歷史的に地理的にもつとも親密な關係にある國家であり[illegible]同甘共苦の民族であると言ふことが出來る、このことは過去における多くの事實が證明してゐる、遠くは日清戰爭、近くは大東亞戰爭と何れも中日民族提攜の[illegible]ならざるはない、今四十年前日露戰役における中國人の渇ぐましい日本軍に對する協力振りを振返つて見よう、[illegible]當時自分は二十二歲で廣東から北京に留學してゐた翌年滿洲に赴きこの頃は既に

滿洲　の一般民衆にも戰爭の[illegible]は大分知れて居り中國人は皆露國ロシャの敗戰を望み[illegible]空氣が[illegible]であつた、先づ中國人の對日協力[illegible]すべきものとしては首山堡の[illegible]がある、當時ロシヤ[illegible]司令官クロパトキンは[illegible]の大軍を首山堡に[illegible]に堅固な陣地を布いてゐた、これが攻略に當つた日本軍は山上よりする敵軍の猛射に[illegible]を阻まれ損害[illegible]たゞ[illegible]同地の[illegible]氏（[illegible]）が[illegible]日本軍に協力すべく[illegible]を率ゐて[illegible]首山堡の[illegible]に案內しつゝ[illegible]死隊は[illegible]に[illegible]隊を[illegible]掛けた、斯くて日本軍の[illegible]に[illegible]を[illegible]行の中に[illegible]

辮髮　をつけた日本軍の[illegible]敗[illegible]もない、[illegible]方に[illegible]この[illegible]死隊は[illegible]行動[illegible]開始され[illegible]ロシヤ軍に大いなる[illegible]首山堡も[illegible]成功に[illegible]ある、而して[illegible]とであるかこの決死隊も[illegible]日本[illegible]

も生還したものは[illegible]滿洲の[illegible]て戰つて行つたのである、その外ロシヤ軍の[illegible]の決死[illegible]の功勞も永久に[illegible]るべきである、[illegible]中立を[illegible]間には[illegible]の空氣が滿洲全域に[illegible]る中國人の有形無形の援助となつて現はれたことである、又[illegible]山の戰ひ、沙河の會戰の大勝利の陰にも中國人が[illegible]を[illegible]して呉れた[illegible]や山間僻地を[illegible]で案內して呉れる中國人の

努力　が與つて大きく力があつたことを思へば日露戰爭こそは[illegible]の興亡を賭けて日本と中國が共同して[illegible]ひ得る。以上の如く四十年前からわれ〳〵兩國民族は合作の[illegible]を以て努力して來た況んや今日大東亞戰爭が勃發して兩國の生死存亡も大東亞の[illegible]この一戰に[illegible]つてゐる時われ〳〵共は[illegible]ひを一層[illegible]くして[illegible]に向つて[illegible]を[illegible]けることは[illegible]

東亞經濟懇談會臺灣委員會

[illegible]日午前十一時より[illegible]に於て[illegible]、[illegible]、內田、[illegible]氏[illegible]の件につき[illegible]決定午前を散會した

一、[illegible]第一回[illegible]は三月二十二日午後一時より[illegible]ホテルに開催

二、[illegible]に於ける[illegible]及[illegible]の件、昭和十七年度[illegible]の件、昭和十八年度[illegible]の件

三、[illegible]大東亞[illegible]について[illegible]交通局總長、水津[illegible]池田工業研究所所長その他知名者に[illegible]を[illegible]すること

四、[illegible]

五、[illegible]を上映すること

帝國學士院規程第二條に依り[illegible]田[illegible]を以て帝國學士院會員被仰付

[illegible]

奧田食糧局長
きのふ歸任

食糧問題に[illegible]する[illegible]を帶びて總督府[illegible]と折衝のため[illegible]で上京中の奧田食糧局長は[illegible]を[illegible]八日[illegible]歸任した

ビルマ國の建設
ビルマ人眞摯な思索
東亞共榮必要な諸條件

【ラングーン八日發同盟】日本に協力して英國を驅逐したビルマがその後戰鬪の[illegible]と各種の日緬協同工作に挺して全力を傾倒して治安恢復と建設事業に邁進したことが認められて我が國より本年中にビルマ國の獨立が許されることになつたがビルマにとつてはこの歷史上未曾有の大きな事件であつた、[illegible]バーモ博士以下の行政府官吏だけではなく全ビルマ人、[illegible]一般民衆に[illegible]一步[illegible]ビルマの[illegible]を[illegible]して來た[illegible]

[illegible]英國[illegible]の[illegible]

責任政治を期待

[illegible]に生れ出づるビルマ國とは如何なる國體を以て國家となるであらうか、而してビルマの[illegible]は如何にして[illegible]であらうか、これ等のことに何れも[illegible]しく生れ出づるビルマ國の[illegible]ある[illegible]ビルマ人に[illegible]て英國に押しつけられたものを[illegible]つた[illegible]ある[illegible]

る、又彼等がやがて生れ出るビルマ國が大東亞共榮圈の重要な一國家として永遠に繁榮を續けるためには如何にして責任ある政治を遂行すべきかについても[illegible]へてゐる、現在わが軍政の下部組織として活動してゐるバーモ行政府はこの點について重大な責任を有するわれ〳〵としては日本から與へられたこの偉大な機會を摑んで新しく誕生すべきビルマ國家の發展に邁進せねばならぬがこの成否は懸けてわれ〳〵の能力と努力の如何に懸てゐることを痛切に感ずる

と其の心境を述べてゐる、英國統治時代にはビルマ政府の責任者がその施策を誤つたところで元々それはビルマ人のための施策ではなくその[illegible]の政治生命に多少の影響はあつても幸か不幸かそれがビルマ人に及ぼす國家的興廢などと言ふものはなかつた、然しこれからは事情が一變する、ビルマが一つの國家體制を整へ英國の[illegible]により過去百年世界の激運から立ち遅れたところを取ひ東亞の一國家として立派なものに成長するか否かは政治を擔當するものの上にかかつて居り、バーモ博士の一言は今わが軍政下のビルマで重任の地位にある政治家の[illegible]を表現したものと言ふことが出來る

政黨思想の脱却

[illegible]一國家として生れ變るビルマの[illegible]は全ビルマの[illegible]であらう、現在の一般ビルマ人は[illegible]から[illegible]ても生れた時から既にビルマは國家の主權を失つてゐたのであり、それに英國の[illegible]によりビルマの[illegible]に多くの[illegible]を[illegible]して[illegible]一面において[illegible]との[illegible]を[illegible]するのでなくて[illegible]他面において[illegible]にビルマ人は常に[illegible]を[illegible]つて[illegible]しとの間にビルマの[illegible]を[illegible]とする[illegible]に[illegible]つありと[illegible]

られてしまひ[illegible]十年を過して來た、勿論この間にはギヤロンの大[illegible]を始めとして過去三十年に亙る[illegible]な反英獨立戰爭が行はれたが、この間においてする英國はビルマ國內の相剋する二つの勢力を巧に利用し、一方が政權を握つた場合には[illegible]に政權安全を[illegible]して內部[illegible]の[illegible]を行はせその目的を達すれば又[illegible]を用ゐるといふ[illegible]によりビルマ人政治家が[illegible]の[illegible]る[illegible]ビルマ人を如何に[illegible]かといふことにのみ日夜頭を惱ませることに成功した、[illegible]ビルマにおける政黨[illegible]の一[illegible]は[illegible]ビルマの獨立を[illegible]する點においては一致してゐたが、[illegible]は相互の[illegible]に消耗してゐたのである、[illegible]として[illegible]るビルマという一國家について[illegible]して見ること[illegible]つた、[illegible]現在[illegible]相當してをらず、他方では[illegible]を[illegible]族を持つビルマが一國家を形成して行くことは[illegible]一仕事であり[illegible]自然[illegible]の[illegible]その重大な[illegible]であらう

經濟行政能力の振興

[illegible]の面について見てもそこにビルマ人の最大[illegible]が見出される、先づビルマ人は[illegible]行政能力に欠けてゐることである、ビルマ人は[illegible]政治行政については英國の支配下に[illegible]ともかく英國政府と[illegible]ことについては英國がその[illegible]を[illegible]へて[illegible]ビルマ人の[illegible]に[illegible]がないからビルマ人の[illegible]行政能力を向上させ

人口增殖が必要

[illegible]することは極めて大きな[illegible]である、更にビルマ一國家を形成した[illegible]大東亞共榮圈における役割の[illegible]についてのビルマ人の大局的意見はバーモ博士の言ふ如く「ビルマは大東亞の一地域であり[illegible]の國家主義、個人主義を排し共榮圈の一構成分子として[illegible]を[illegible]又ひいては同生共死の[illegible]を基調として日本を始め共榮圈各國と政治的にも經濟的にも完全に融合すること」にある

[illegible]べき[illegible]を前にしてビルマの人口[illegible]はビルマ人の間に[illegible]一節の[illegible]增殖を[illegible]と言ふ[illegible]である、ビルマは日本內地と[illegible]の[illegible]を持ち其の天然資源の[illegible]は[illegible]の通りであるが人口は日本の五分の一にも[illegible]して居ない、[illegible]國力の[illegible]る[illegible]にビルマは[illegible]

日本の實力を背景

[illegible]ゆる[illegible]を[illegible]の[illegible]が[illegible]出來るものではなく[illegible]人の[illegible]指導により[illegible]ビルマの國家[illegible]ルマ人の政治家や知識階級[illegible]知悉して居るので[illegible]ビルマ[illegible]を[illegible]して[illegible]

獨機倫敦連爆

【ストックホルム七日發同盟】ロンドン來電＝獨空軍は七日夜再びロンドンを空襲し約三十分間に亙り爆擊を加へた

學士院會員に原田敎授發令

【東京電】考古學の泰斗として著名な東京帝大文學部教授原田淑人氏は八日附を以て學士院會員を仰[illegible]

けふの兩院

【東京電】

貴族院　本會議、委員會共になし

衆議院　休會

人事

▲[illegible]氏（[illegible]株式會社[illegible]）新任挨拶の爲め[illegible]日本[illegible]

▲[illegible]一氏（日本[illegible]）[illegible]此の程[illegible]上京

家庭におくる休息の糧
保健飲料
日東紅茶
發賣元　三井物產株式會社　製造元　三井農林株式會社

[illegible]の悪い方に
ビノサン療法
◎新薬‼手輕に出來て効き目の早い
[illegible]
十日分[illegible]　廿日分[illegible]　六十日分[illegible]
代理店　本家　小判屋
[illegible]

撃ちてし止まむ！
撃て米英
肺炎に
肋膜炎に
神經痛に
濕布は三十分
デルモライツ

症狀の複雜執拗な
慢性胃腸病には…
新生アイフ
新生アイフは[illegible]な[illegible]なければ、消化劑や整腸劑でもありません。[illegible]胃腸內部の炎症や潰瘍、胃腸筋の弛緩、分泌・運動・吸收機能の異常等、器質的機能的障碍を除いて諸症狀を根本的に解消せしめるは勿論、病患せる消化器管をその組織から恢復強化し、榮養・抵抗力をも增强せしめる等、治療・對症兩治療と榮養補正の三作用を兼ねた綜合胃腸藥であります。ですから症狀の複雜執拗な慢性胃腸病には打つてつけの治療藥として賞用せられます。（錠劑・粉末各一圓五十錢）
朝食不進・晩食減退　胃弛緩症・胃擴張
朝食不振・晩食佳良　慢性胃カタル
製造本舖　大阪市東區淡路町[illegible]　[illegible]商會

醫學博士　平野[illegible]先生實驗創製
醫學博士　小川信一先生外十四博士實驗推奬
ビタヘモゲン錠
本劑の主要成分
血液　肝臟　脾臟
既知の諸成分　ビタミンA、B、C、D、E、ヘモグロビン、蛋白質、鐵分、肝臟並に脾臟ホルモン
化學的に說明し得ざる有効主要成分
ビタヘモゲン變調劑
結核性疾患　心臟疾患　夜尿症　尿意頻數　食慾增進　精力增進　四肢冷感　虛弱體質
創製者の言葉
余は臟器製劑（血液、肝臟、脾臟）の研究に着手して茲に十餘年遂に變調劑ビタヘモゲン錠の完成を見たり
要つて本劑の有効主要成分は化學的には殆んど說明し得ず、強ひて既知の化學知識を以て說明すれば、ビタミンA、B、C、D、E、ヘモグロビン、蛋白質、鐵分、肝臟並に脾臟ホルモン等にして之等不思議なる主要成分並に既知の諸成分の綜合により實に偉効ある變調劑（病體を健康體に、老衰を活動的に變調する）として活作用することを治驗的に確信し得たる榮養活力ホルモン劑なり
200錠　2.00　400錠　5.00　1,000錠　10.00
全國著名藥店にあり品切の時に直接發賣元へ申込まれよ
（說明書進呈）
發賣元　東京市神田區鍛冶町二ノ十
池田[illegible]
堀內伊太郎商店
振替口座東京一六一〇番

社説

督府の完勝第一主義確立

六百萬皇民も戰爭生活實踐

一

[illegible]

二

[illegible]

三

[illegible]

苧麻の大增産施策

擧島・決戰態勢に即應

[illegible]

ボロ、紙屑も決戰へ

配給統制規則を公布

一般家庭の協力要望

[illegible]

藥品對策

統制會社設立へ

【大阪支局發】[illegible]

生保南進具體化へ

廣域共榮圈への構想

【東京本社特電】[illegible]

纖維品配給暫定措置

[illegible]

"日本塗料"

三月中に發足

【大阪支局發】[illegible]

臺灣茶の南方輸出

先づ泰、續いて馬來方面へ

[illegible]

"辨當"禮讚

[illegible]

餘剩電力を西部へ

東西臺灣交流施設

二十年頃完成豫定

[illegible]

增資新株の割當に善處

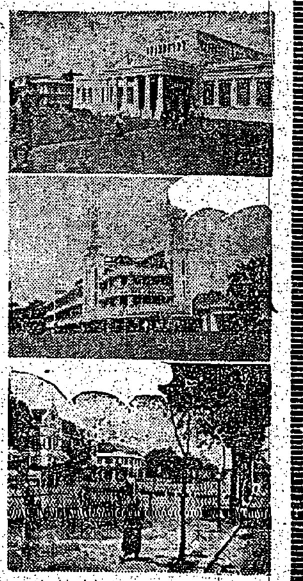
[illegible]

麻袋・新態勢

配給、回收合理化

[illegible]

蘭印攻略一周年



[illegible]

"米英の走狗潰滅"

思出は新た＝苦難の中に

見よ日本人の意氣

[illegible]

語る人……加藤太郎氏

商況（八日）

兜町後場況

【東京發】[illegible]

東京短期後場

東京長期後場

東京銀行實株

東京國債前場

東京短期取組陰合

[illegible]

一歩進んだ簡易裁斷の

洋裁が…自宅で習へる

[illegible]

東京無線技術學校

無線技術講義

製圖講義

校長 [illegible] 高田[illegible]

[illegible]

たんせきぜんそく

芳香佳味
家庭良藥

龍角散

氣管支炎ぐらいと云ふ

油斷が大敵

[illegible]

定價

各地藥店にあり

東京市神田區豊島町 本舗 株式會社 藤井得三郎商店

M—18

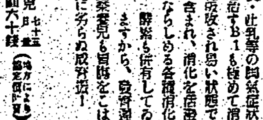
肌にハリ切る彈力を！

ドイツ特許皮膚専門榮養劑ラセランの効果で生肌からピチ〳〵彈力ある美しさとなり、肌アレ恢復・化粧下・ヒゲ剃り後・働らく手の榮養に一等

バニシング

マスタークリーム

空壜は藥店へ！



巧みな育兒

消化不良・綠便・吐乳を恢復し人工榮養兒も太る

[illegible]

同化性V・Bと3種の消化酵素の複合効果

ともかわ 新劑

東京　ともかわ本舗

B4—66

B3

パピリオ

クレーム三種、AとBとCあり。
粉白粉十二色（新しい肌色四種）
ほゝ紅十二色
口紅八色

脅威に曝ざる臺灣 敵正に虎視眈々

固めよ完璧の「民防空」

田中高級參謀 烈々の雄叫び

臺灣軍田中高級參謀は「民防空について」の演題で八日午後七時三十分から臺北放送局のマイクを通じ約二十分間に亘つて口演、今年は必ず空襲がある、我々は民防空に萬全の陣をしき、敵機の侵入を寸土たりとも許さず防空に必勝の信念を堅持せよと六百萬島民に訴へると共に民防空の重要性を強調した、その要旨左の如し

大東亞戰爭……よいよ防空施設を強化することが……下の急務である、敵の空襲は昨年東京にやつて來た小規模なものと見ては行かず、あれは小手調べでもつと大規模な空襲を覺悟すべきである、……安心することは敵の謀略に陷ることである、北方アリユーシヤンに連日の如き……

空軍……母艦……對日……活躍……

[illegible]

覺悟……せねばならない、……

織手よく遺兒を護る

日本婦道に勵まされて起つ

滿洲國版 軍國の母

【牡丹江五日發同盟】……さんの夫君……氏が第六……

軍屬 として……

婦道 の……

[illegible]

一億の全身全靈あげ 戰力增强に結集

南方戰線歸還勇士 全島民の奮起强調

きのふ常會に叫ぶ

昨夜全島一齊にひらかれた三月の常會に臺北第二師範學校教官竹下忠夫氏は南方戰線の體驗談を……一億國民は……一日も早く防空陣の強化に邁進せねばならぬとマイクを通じ大要左の如く強調した

私は昨年の……

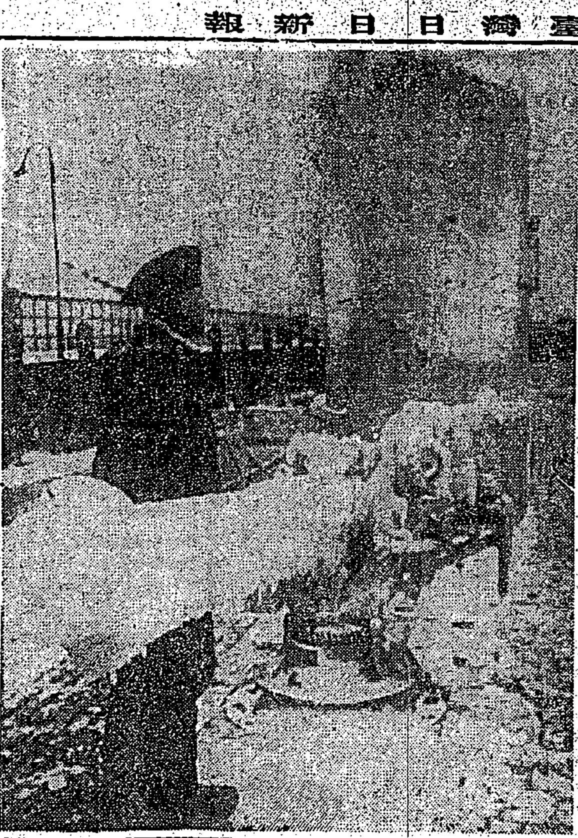
各人 に……

皇軍 の……

國民 ……

お國 の……

[illegible]



北洋任務より歸還せる獨ユーボート

國民貯蓄は女から

月掛け貯金が最も效果的

皇奉本部内の國民貯蓄勵行本部では……女から」と云ふ標語に……

[illegible]

空の防人へ獻金申合す……新起町常會

臺北市新起町區常會では……

ウライ社＝烏來社

從來の名稱にその儘漢字を當てる

山地名改稱緒につく

總督府では山地名の一齊改稱を……

[illegible]

遵法講演會

地方改良講習會

事務の決戰體制

見ぬ夫と寫眞結婚

戰死なんのその固く誓つたこの覺悟

床し軍國の女ごころ

陸幼入學者は乘船手續を……

[illegible]

不埒、國民の仇敵

不正居出てお米の闇買

續「鐵の錬成」

第二回猛訓練始まる

硬貨へ必勝の突擊

花蓮港 獅子奮迅の銃後陣

勤報青年隊

名も床し興亞會館

甦るビクトリヤホテル

殺到「愛の赤十字」へ

軍國乙女の決意・當局感激

[illegible]

ラジオ

第一放送

第二放送

[illegible]

産めよ子寶

國の爲 家の爲

淺井園

[illegible]

大東亞護謨製造合資會社製

工業用ゴムホース各種

サクシヨンホース　エヤーホース

ウオーターホース

酸素アセチレンホース

各種ゴムパッキングス

ゴム平型ベルトＶ型ベルト

コンベヤーベルト各種

單獨代行店 秋本商事株式會社

臺北市末廣町三

今日の映畫

大世界館　台灣劇場　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場

臺北合同映畫社

基隆の映畫

基隆劇場　中央劇場　世界館　高砂劇場

[illegible]

石堂 看護 看護 保 理髮 女給 時計 見習 比島 生徒 店員 産婆 技工 寫眞 福迫 アザミ 女給 貸間

[illegible]

技能者養成工募集

臺灣通信工業株式會社

辯護士 竹內吉平

臺北市太平町二ノ九七

移轉御通知

鐵鋼販賣統制株式會社臺北支店

日本レール株式會社臺北出張所

齒科 道野齒科醫院

齒科 矢野齒科醫院

保生醫院

大型機帆船乘組員募集

船！船！船！

第一種 第二種 應募要項

南日本汽船株式會社

明るい印刷 精美堂

[illegible]

仰げこの母・この妻

⑥

二愛兒抱へ刻苦勉勵

荒井君子さん

嘉義市堀川町

立派な"日本の妻"

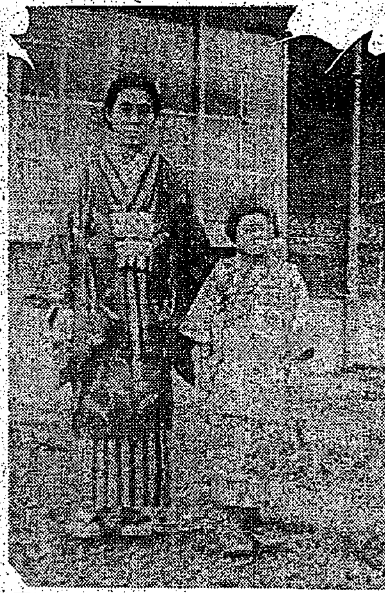
【嘉義電話】市内堀川町一番地にある名譽の遺家族荒井君子さん（三二）[illegible]

日本の

[illegible]

苦鬪の

[illegible]



內地に

[illegible]

立派に

[illegible]

表彰さる

[illegible]

食糧增產に挺身

花蓮郡壽庄　柿迫フクさん

[illegible]

農耕に精魂傾く

北斗郡田尾庄　谷川フサ子さん

[illegible]

奉公運動に挺身の意氣

銃後指導者層に活

蘭陽一市三郡指導者講習會開く

【宜蘭電話】蘭陽一市三郡指導者講習會は[illegible]

時局に目覺めた人

結婚即ち應召なり

決戰女性の賴母しき結婚理想

皇奉高雄市支會調査

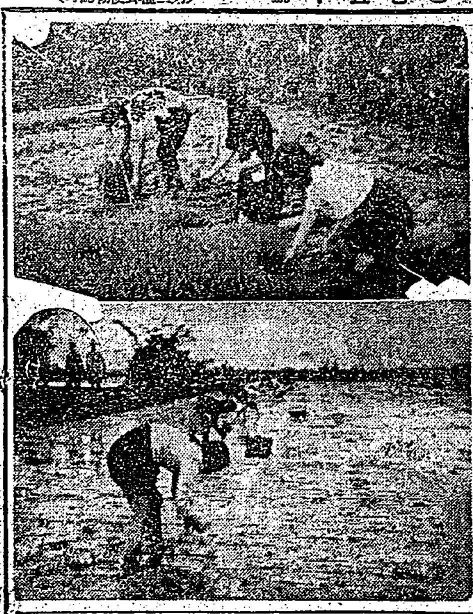
【高雄電話】皇奉高雄市支會では[illegible]

銃後乙女の意氣旺ん

"增產は姜達で"

羅東郡女子挺身隊の揷秧共勵會

【羅東電話】[illegible]



（上）羅東街女子挺身隊の苗取り（下）田植競技

銃後壯丁の意氣昂揚

高雄州下聯合保甲壯丁團檢閱

【高雄電話】[illegible]

鄕軍宣蘭分會査閱

【宜蘭電話】[illegible]

獻身の愛國心結實

新竹州貯蓄功勞者表彰

【新竹電話】[illegible]

新莊郡國民貯蓄完遂懇談會

[illegible]

文山華僑公會定期總會

[illegible]

新竹州看護助手第二回募集

【新竹電話】[illegible]

市街庄便り

竹東郡

[illegible]

桃園郡

[illegible]

羅東街

[illegible]

新竹市

[illegible]

屛東市靑年團　靑年劇發表會

[illegible]

東港郡の堆肥積込傳習期間

[illegible]

七段對六段戰

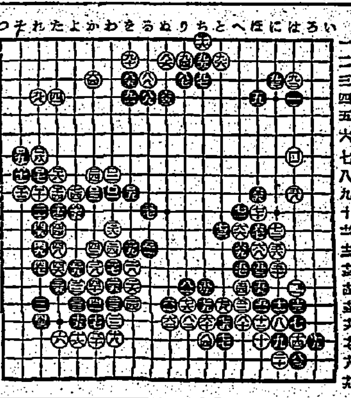
【第十回】

七段　小野田千代太郎

先五段　福田正義

持時間各九時間　一分以內切捨

消費時間（白）三時五四分（黑）四時三六分



いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ
一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

果然大振替り

【解說】七段　[illegible]

[illegible]

大いなる祭

(81)

中野實作　三芳悌吉畫

愛と彈丸と（十五）

「待て、待て。こいつはほどけさうもないから、切つてしまはう」

云ひながら、櫻は刃物を探すために、最後の一本の燐寸をすつた。

ぱつと部屋の中が照らし出された刹那、彼はぐいと右手を摑まれた。

「あ」

次の瞬間、鋭い銃聲が一瞬彼の耳を劈いた。と同時に、櫻は、よろよろと、腹部をおさへて前かがみに膝をついた。

「へへへへへ」

笑ひ聲と一緒に、[illegible]姿が飛び出た。

「砂金」

櫻は床の上に跳びながら絶叫した。

「へへへへへ。そりやあ砂金だらうな」

砂金は薄ら笑ひをうかべながら、

「おい、櫻。いくらじたばたしたつて、もうてめえは助かりつこはねえぜ」

「うむう」

砂金の彈丸は櫻の腹部を貫通してゐた。たらたらと鮮血が冷たいコンクリートの床に流れた。

「櫻君。しつかりしろ。しつかりしろ」

金井は、手足を縛られてゐるのでどうにも仕樣がなかつた。

「へへへへ」

砂金はじろりと金井に流し目をくれて、

「お前もあんまり慾がねえ方がおためだぜ。こいつと同じやうに一發見舞つて欲しけりやあ、またおいらのピストルには五發彈丸が這入つてゐるんだからな」

「砂金……」

身をもがく金井を、砂金はうるささうに蹴倒してふたたび、櫻の[illegible]

「おい、櫻。どうせお前はお陀佛だから、あの世への土產にいいことを聞かせてやらう。お前がここへやつてくることを、俺、ちやんと知つてゐたんだ。美々の奴が知らせてくれたんだ」

「なに、美々が……」

「さうよ」

「砂金……」

櫻時夫は苦悶の苦しみに喘ぎながら、

「あいつに、やつぱり、騙されたか……」

「へへへへへ。[illegible]ひずり廻りながら、うんと苦しむがいいや。美々の奴は、今頃、ホテルのベッドで高鼾だらうよ」

「畜生……。金井君、すまない。僕が、あいつに氣を許したのが……」

「へへへへへ、どうやらお前は美々の色男がつてゐたらしいが、そいつは大きな間違ひだつたらしいな」

砂金は櫻を嬲り殺しにするつもりらしく、殘忍な笑ひをたたへながらどつかと椅子に腰を下して、

「はやく死にたいだらうが、俺はお前にたんと禮を云はなくちやならねえ。先づ第一は、[illegible]を飛行機で逃がしてくれたお禮だ。それから、美々を……」

と云ひかけて、砂金は[illegible]眼をあげ、

「可愛がつてくれたお禮も云ひてえ」

「砂金……」

必死の力をしぼつて、櫻時夫は砂金につかみかからうとすると、砂金は、櫻の[illegible]をめがけて、つづけざまに彈丸を發射した。

戰爭保險
東京火災
臺北出張所　榮町

玄米の完全消化に
南方特產パパイン製劑
カネボウ
消化胃健錠
一〇〇錠入　一圓
二〇〇錠入　二圓
三〇〇錠入　三圓八〇
東京市品川區大井鹽原町　鐘紡藥品化學研究所

ホルモンで肌を美化する
ホルモン・ビタミン配合
クラブ美身クリーム
大阪・東京　中山太陽堂

ぜんそく　根切り藥
無料進呈
王圓
[illegible]
藥所

福建語入門
市成乙重編
再版出來
東京福建語講習所

コロイゲン錠
[illegible]

六〇六號と水銀劑
[illegible]

杭長一〇〇尺施工容易
マルチペデスタル・パイル
設計施工
東洋コンプレッソル株式會社
（創立明治四十年）
東京市麴町區丸ノ內二丁目十四番地
出張所　大阪・門司・臺北・大連・新京・奉天

づつうにサール

セーラー萬年筆

ニキビが取れて色白くなる
[illegible]

ロート目藥
シマズ　イタマズ
適應症
結膜炎
角膜炎
トラホーム
疲勞眼
學校近眼
等

齒痛に頭痛はガオガンに限る

撃ちてし止まむ
阿片戰爭
東寶大作
9日封切
東寶直營　國際館

犯人は誰だ・謎・謎・謎 羽後の金山に嵐を呼ぶ梵天まつりの夜は更ける
9日同時封切
山まつり梵天唄
十日陸軍記念日　撃ちてし止まむ米鬼・英鬼
8時
劇臺

ノ生誕の歷史の明黎洋東 知らぬくら 風 の 影 紅燈
戰ふ國民必見の映畫！
阿片戰爭
市川猿之助・原節子・高峰秀子
8時
大世界